

御 菌 小 だ よ い

平成25年9月9日
伊勢市立御菌小学校

No. 75

校長室より

学級園のサツマイモに花が咲きました。HPでもご紹介しましたが、桃色のかわいらしい花です。サツマイモはヒルガオ科の植物ですから、花はヒルガオそっくりです。そういえば、このサツマイモの花を見る機会って、今まであまりありませんでした。もちろん、近所にはサツマイモ畑はいくらでもありましたが、あまり花はみかけませんでした。



サツマイモの花

そこでいろいろと調べてみると、サツマイモはその名の通り、大陸から薩摩（鹿児島県）へ渡り、そこから全国へ伝わりました。荒れ地や痩せ地でも育つということで、各地で人々を飢餓から救いました。もともとサツマイモは熱帯や亜熱帯の地方の植物（原産は南アメリカ大陸のペルーだと言われています。）でしたから、亜熱帯である沖縄地方では、当たり前のように花が咲くのだそうです。でも、九州以北では、あまり花が咲きません。だから、この地方では花を見る機会が少なかった

のですね。詳しく調べてみると、サツマイモの花は、1日の昼間の時間が11時間以下にならないと花が咲きません。ところが、そのころになると、日本では霜がおりたりして、サツマイモは枯れてしまいます。だから花を見ることが出来ないのだそうです。



では、どうして花が咲いたのでしょうか？しつこく調べてみると、次のようなことがわかりました。「サツマイモは、イモが大きくなならないような環境におかれると、日照時間が短くならなくても開花する」のだそうです。すなわち、雨の少ない干ばつ気味の年や苗が病気にかかったり、イモをネズミにかじられたりした場合にも開花することがあるんだそうです。

サツマイモはイモで子孫を残そうとします。（南方では種も実らせませす。）でも、そのイモが育たなかったり、ネズミなどに食べられたりすると、花を咲かせて実を付けようとするのです。可憐な花の影では、子孫を残すために自然の厳しさと壮絶な戦いを繰り広げるサツマイモの姿があったのですね。

花一つ、実一つでいろんなことを知ることが出来ます。お子様と一緒に、秋の夜長を楽しんでみてはいかがでしょうか。きっと楽しい有意義な時間になると思います。

4年 交通安全教室

交通評論家の矢橋先生に来て頂いて、第二回の交通安全教室が4年生で実施されました。7月はマナーについての学習が中心だったのですが、今回はより具体的に、道路の横断の

しかたや、危険を自分で予測することなどを学びました。最後には、交通ルールについてのクイズも出していただきました。子どもたちは、とても熱心に先生の話聞いていました。もちろん、多くの子どもたちが積極的に発言し、あっという間の45分でした。



竜巻から身を守る

先週、関東でたいへんな被害を出した竜巻。以前の日本では考えられないような気象現象です。先週は、伊勢市でも竜巻によると見られる被害がありました。実は、今年の5月にも竜巻が起こり、「御菌小だより 5号」で、竜巻から身を守る方法をご紹介します。再度一部を掲載いたしますので、参考までにお読みください。

御菌小だより5号より抜粋

竜巻からの身の守り方

☆ 屋内にいる場合

- ・ 地下室や建物の最下階に移動する。
- ・ 窓を開けない。 ・ 窓から離れる。 ・ カーテンを引く。 ・ 雨戸、シャッターをしめる。 ・ 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する。 ・ 部屋の隅、ドア、外壁から離れる。 ・ 頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。

☆ 屋外にいる場合

- ・ 車庫、物置、プレハブを避難場所にしない。 ・ 橋や陸橋の下に行かない。
- ・ 近くの頑丈な建物に避難する。 ・ 飛来物に注意する。
- ・ (頑丈な建物等)無い場合は、近くの水路やくぼみに身をふせ、両腕で頭と首を守る。

※とっさにこのような判断をすることは難しいですが、詳しくは、気象庁のHPをご覧ください。なお学校では、下校時刻に雷や大雨などの急激な気象変化があった場合、子どもたちの下校を遅らせることがあります。予めご了解ください。

不審者への対応 あいがとうございました。

9月2日(月)の朝、突然飛び込んできた不審者情報。本校では地元での不審者ということで、急遽一斉下校を実施しました。普段の一斉下校は、一旦各教室へ入り、確認をしたあとで各通学団ごとに下校します。しかし、この日は急なことでしたので、運動場において整列しました。初めてのことで、雨が降り出したことで、集合がたいへん手間取り、予定時間を過ぎてからの下校となりました。保護者の皆様には、たいへんご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。また、翌朝は多くの方に、子どもたちの見守りをしていただきました。警察の方や教育委員会の方にもパトロールを強化していただきました。本当にありがとうございました。

ただ、今回の不審者について、解決を見たわけではありませんので、今後も注意をしていく必要があります。登下校ではできるだけ一人にならないよう、学校でも指導してまいります。ご家庭においても、夜間の外出はもちろんのこと、休日の外出等についても、ご注意ください。また、新しい情報がありましたら、「すぐメール」でお知らせいたします。